



南の躍動

令和7年度 第5号

奄美のよさを生かした魅力・活力ある教育の推進

大島教育事務所 令和8年3月27日



児童生徒に委ねる学習の在り方

先生へっ！それ、私たちがやりたい！

児童生徒の思い、先生の課題(例)、期待される効果、留意点

主任指導主事兼指導係長 山田 克美

大島教育事務所では、令和7年度の目標を「奄美のよさを生かした魅力・活力ある教育の推進～人権教育を全ての教育の根幹に～」とし、具体的な方針として大島地区教育推進プランを掲げ、各種研修会、学校訪問や校内研修等を通じて各学校の支援に努めています。

学校訪問等では、各学校で「授業充実の3ポイント」を意識して取り組んでいる様子や授業でICTを効果的に活用している様子等を確認することができました。しかし、授業を参観する中で、もっと児童生徒に学習を委ねようと感じる部分が見受けられたことから、リーフレット「先生へっ！それ、私たちがやりたい！」を作成しました。授業の各段階において、どのように学習を児童生徒に委ねればよいかのヒントや、委ねることによって得られる効果等を記載しています。本資料を参考に、指導する部分と児童生徒に委ねる部分とのバランスが取れた「学習者主体の授業」が展開されることを期待しています。

なお、本データは来年度4月に各小中学校に配布します。

令和7年度 鹿児島学力・学習状況調査の結果について

表は、大島地区と県の通過率の差をまとめたものです。値が小さいほど通過率が低く、課題があることを示します。網掛けは「知識及び技能」の値が「思考力、判断力、表現力等」より小さいものに付けています。

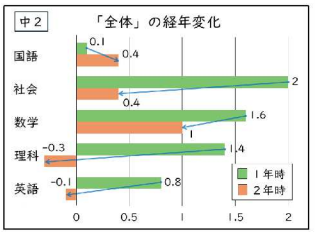
大島地区の課題である「知識及び技能」の更なる習得に向けて、次のことを授業において工夫する必要があります。

- ① 既習事項を思い出したり、使ったりする場面を意図的、計画的に繰り返す。
- ② 自分の考えを教科書等の言葉を参考にしながら理由とともに説明する。
- ③ 発展的な活動や応用問題への取組等を通して既習事項の活用を図る。

グラフは、現中学2年生について、大島地区と県における「全体」の通過率の差を1年時と比較して示したものです。県平均を上回っていた教科において、差が縮まっていたり、教科によっては県平均を下回っていたりしており、全体的な学力低下が懸念されます。

このように、同一集団の調査結果の比較により、課題が一層明確になります。例えば、小学5年時の鹿児島学力・学習状況調査と6年時の全国学力・学習状況調査を比較するなど、一人一人の変容を捉えて、的確な学力向上対策が取られることを期待します。

| 学年 | 教科 | 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | | 全体 | |
|----|----|-------|------|----------|------|------|------|
| | | R7 | R6 | R7 | R6 | R7 | R6 |
| 小5 | 国語 | -2.5 | -2.3 | -1.6 | -0.6 | -0.6 | -0.6 |
| | 社会 | -0.5 | -0.7 | -0.6 | -0.8 | -0.8 | -0.8 |
| | 数学 | -1.6 | -2.8 | -2.2 | -1.6 | -1.6 | -1.6 |
| 中1 | 理科 | -1.4 | -1.3 | -1.4 | -0.4 | -0.4 | -0.4 |
| | 国語 | -1.4 | -3.7 | -1.6 | +0.1 | +0.1 | +0.1 |
| | 社会 | +0.5 | +0.9 | +0.7 | +2.0 | +2.0 | +2.0 |
| 中2 | 数学 | -1.1 | +0.1 | -0.5 | +1.6 | +1.6 | +1.6 |
| | 理科 | -0.5 | -0.2 | -0.4 | +1.4 | +1.4 | +1.4 |
| | 英語 | -1.9 | -0.2 | -1.2 | +0.8 | +0.8 | +0.8 |
| | 国語 | +0.7 | -0.7 | +0.4 | -0.9 | -0.9 | -0.9 |
| | 社会 | -0.7 | +1.8 | +0.4 | -1.6 | -1.6 | -1.6 |
| 中2 | 数学 | +1.6 | +0.4 | +1.0 | -4.0 | -4.0 | -4.0 |
| | 理科 | -0.6 | +0.3 | -0.3 | -1.4 | -1.4 | -1.4 |
| | 英語 | -0.9 | +0.6 | -0.1 | -1.8 | -1.8 | -1.8 |



「体力アップ！チャレンジかごしま」取組状況

大島地区における後期の取組状況は、小学校96.3%、中学校86.7%、年間の取組状況は、小学校、中学校ともに100%（前年差：小学校±0、中学校+4.3）でした。また、後期・年間の県ランキングでは、下記の小学校と中学校がトップ10入りを果たし、各学校での継続した取組が見る生徒の体力の向上につながっていることがうかがえます。※ ○数字はランキング入りした種目数

| 学校 | 後期 | 小学校 | | 中学校 | |
|-----|----|--|--|-----|-----|
| | | 種目数 | 学校名 | 種目数 | 学校名 |
| 小学校 | 後期 | 朝日小②, 赤木小⑦, 節田小②, 佐仁小①, 大棚小④, 名音小⑤, 今里小①, 久志小②, 名柄小⑤, 西阿木小①, 諸鈍小①, 嘉鉄小④, 龍瀬小①, 赤徳小③, 龍郷小②, 円小①, 花徳小②, 山小④, 手々小④, 岡前小⑩, 岡前小与中間分校⑥ | 朝日小①, 赤木小⑦, 節田小②, 緑が丘小①, 佐仁小①, 大棚小④, 名音小⑤, 今里小①, 久志小②, 名柄小⑤, 嘉鉄小④, 龍瀬小①, 赤徳小③, 龍郷小①, 円小①, 花徳小②, 母間小①, 山小④, 手々小④, 天城小②, 岡前小⑩, 岡前小与中間分校⑥, 西阿木小①, 西阿木小三京分校①, 面縄小①, 馬根小①, 糸木小①, 大城小⑤, 知名小③, 那間小② | | |
| | 年間 | 朝日小①, 赤木小⑦, 節田小②, 緑が丘小①, 佐仁小①, 大棚小④, 名音小⑤, 今里小①, 久志小②, 名柄小⑤, 嘉鉄小④, 龍瀬小①, 赤徳小③, 龍郷小①, 円小①, 花徳小②, 母間小①, 山小④, 手々小④, 天城小②, 岡前小⑩, 岡前小与中間分校⑥, 西阿木小①, 西阿木小三京分校①, 面縄小①, 馬根小①, 糸木小①, 大城小⑤, 知名小③, 上城小①, 那間小① | 朝日小①, 赤木小⑦, 節田小②, 緑が丘小①, 佐仁小①, 大棚小④, 名音小⑤, 今里小①, 久志小②, 名柄小⑤, 嘉鉄小④, 龍瀬小①, 赤徳小③, 龍郷小①, 円小①, 花徳小②, 母間小①, 山小④, 手々小④, 天城小②, 岡前小⑩, 岡前小与中間分校⑥, 西阿木小①, 西阿木小三京分校①, 面縄小①, 馬根小①, 糸木小①, 大城小⑤, 知名小③, 上城小①, 那間小① | | |
| 中学校 | 後期 | 金久中③, 朝日中②, 芦花部中①, 市中①, 赤木名中②, 笠利中①, 田検中③, 久志中①, 名柄中②, 諸鈍中①, 池地中①, 阿木名中①, 龍南中①, 喜界中①, 亀津中②, 東天城中③, 手々中①, 天城中②, 西阿木名中③, 面縄中①, 和泊中① | 金久中③, 朝日中②, 芦花部中①, 市中①, 赤木名中②, 笠利中①, 田検中③, 久志中①, 名柄中②, 諸鈍中①, 池地中①, 阿木名中①, 龍南中①, 喜界中①, 亀津中②, 東天城中③, 手々中①, 天城中②, 西阿木名中③, 面縄中①, 和泊中① | | |
| | 年間 | 金久中②, 朝日中②, 芦花部中①, 市中①, 赤木名中②, 田検中③, 久志中①, 名柄中③, 池地中①, 阿木名中①, 龍南中①, 赤徳中②, 喜界中①, 亀津中②, 東天城中③, 手々中①, 天城中③, 西阿木名中③, 和泊中① | 金久中②, 朝日中②, 芦花部中①, 市中①, 赤木名中②, 田検中③, 久志中①, 名柄中③, 池地中①, 阿木名中①, 龍南中①, 赤徳中②, 喜界中①, 亀津中②, 東天城中③, 手々中①, 天城中③, 西阿木名中③, 和泊中① | | |

宇検村 夏休みの「宇検村作文教室」

宇検村では、「書く楽しさを味わい、書くことへの自信をもたせたい」という願いの下、小中学生を対象に作文教室を毎年開催しています。講師は、宇検村の小中学校の先生方です。今年度は小学生約40人、教職員12人の参加があり、活気ある学びの場となりました。普段の授業では個別指導が難しい作文の書き方について、スモールステップで学ぶよい機会となっています。

この作文教室が、自分の考えをもって表現する力の向上に寄与することを願い、今後も内容の充実を図りながら開催を継続していきます。



喜界町 異年齢集団による「やる気塾」

喜界町では、平成17年度から家庭学習の習慣化と主体的に学習に取り組む態度の育成を目的として「やる気塾」を開催しています。今年度も、自主学習や異年齢集団による学び合い、問題演習のほか、火起こし等の体験的な活動を取り入れた交流が行われました。これらの活動を通して、上級生が自覚をもって下級生に関わる姿や、相手に伝わるよう工夫して語り掛ける様子が見られ、教えることの魅力を感じたとの声も聞かれました。

異年齢集団による「やる気塾」の可能性は今後も広がっていくことがうかがえます。



伊仙町 一人1台端末を活用した「オンライン英会話」

伊仙町では、町の目標である「英検合格率日本一の町(島)=伊仙町！」の一環として、令和6年9月から、町内の全8小学校の第5・6学年、3中学校で、海外の講師陣と1対1のマンツーマンによる「オンライン英会話」に取り組んでいます。タブレット端末を使った10分間のレッスンを通して、生きた英語力の向上に努めています。

この学習を通して、児童生徒が観光に訪れた外国の方々とコミュニケーションを図ることに躊躇せず、「英語で世界自然遺産の観光案内をする町(島)」の担い手になることを目指すとともに、将来世界に羽ばたいていける人材となることを願っています。



各市町村の特色ある教育活動

【タイトル横の写真】 請島に自生し、梅雨の岩陰に咲く大輪の「ウケユリ」（瀬戸内町教育委員会提供）